

住宅設計の
プロである建築士が
誰でもわかるように
易しく教えます！

家は住むためだけでなく
命を守るために建てるべきです。

耐震を知り、断熱を学ぶ。

住まいの構造セミナー

デザインやインテリアは家具や内装を変えるだけで簡単に変わりますが、耐震性や性能は、大掛かりな改修工事を行わなければ変わりません。人は災害が起こったときに「耐震性能」と「耐久性能」の大切さに気付きます。でも、災害が起こってから気づいても遅いのです。これから家を建てようと考えている方、ご自宅のリフォームを考えている方、「耐震」や「断熱」という視点から、住まいづくりを考えてみませんか？

6月16日(土)・17日(日)

【時間】14:00～16:00(13:45開場)

【会場】東近江市蛇溝町.....会場までの地図はこちらをご覧ください▶



■参加無料
■要予約

ご予約方法は
裏面をご覧ください。



熊本地震で倒壊した築浅の住宅。建ててから10年も経っていないお家なのに、耐震性能が低いとこのように簡単に倒壊します。

昨年、日本で起きた地震の回数をご存知でしょうか？気象庁の発表によると、震度1以上の地震は2025回にのぼります。このうち震度5以上の地震は計8回ありました。365日で割ってみると、実に1日に5回以上の地震が起きています。この事実を考えると、将来、起こりうるとされている南海トラフ地震もいつ起きるか分かりません。

だからこそ、これからお家を建てるのなら『地震対策を惜しまない』ことをおすすめします。中途半端な耐震性能で建ててしまい、地震によって半壊してしまったら、そのまま住み続けることができません。災害のあとに住み続けることができなければ、半壊だろうと全壊だろうと同じことなのです。

このセミナーでは、「地震から命と暮らしを守るために、どのような家建てるべきか」を建築士の意見を交えてお話いたします。

木造は地震に弱いのか？

耐震等級1と3の違いは？

免震・制震・耐震の違いはなに？

地震で家が倒壊したら住宅ローンはどうなるの？

断熱材の種類は？

寒い家はイヤ！どうすればいい？

『高断熱』ってなにが基準なの？

気密が高いと息苦しいの？

建築士が答えるよくある質問

耐震・断熱

35年間で必要なコストをトータルで考えた場合の比較

断熱性能を良くすることの最大のメリットは、ランニングコスト(光熱費)が安くなることです。ローコスト住宅は建築費用が安く済みますが、性能が低いため光熱費がたくさん掛かります。35年以上住むことを考えると、トータルで考えたときに高性能な家の方が安く済むのです。

最低限レベルの性能の家

建築費 (土地・建物)	修繕費	ランニングコスト(光熱費) 月25,000円×12カ月×35年 1050万円
建築費 (土地・建物)	修繕費	ランニングコスト(光熱費) 月15,000円×12カ月×35年 630万円

月10,000円の差が…

差額420万円

35年間で420万円の差になる!

建替え・リフォームをご検討中の方へ

耐震や断熱のリフォームは補助金を利用できる場合があります。建替えやリフォームをご検討中の方で、『我が家の耐震性は大丈夫?』『シロアリ被害を受ける可能性はある?』『断熱リフォームできる?』などの不安がある方もぜひこのセミナーにご参加ください。建築士に直接相談して頂けます。

お申し込みはこちらから

参加をご希望の方は、下記の必要事項を添えてお申し込みください。【お申し込み締め切り】6月15日(金) 18:00まで

- ①お名前
- ②お電話番号
- ③参加人数(小学生以下のお子様の有無)
- ④ご年齢

お電話でお申込みいただく場合

0120-06-1201

【ご予約の流れ】
「構造セミナーに参加したいのですが…」とお電話ください。
<受付時間>月・火・木・金・土・日/9:00~18:00(水曜定休日)

メールでお申込みいただく場合

ホームページのメールフォームからお申し込みください。

【ご予約の流れ】
右記のQRコードからホームページにアクセスし、メールフォームに必要事項をご記入のうえお申し込みください。後日、担当者より「予約完了メール」をお送りします。

